



市内のがんばるものづくり企業を紹介します だいせんものづくり図鑑

no. 13



雨のみちをデザインする

(株)タニタハウジングウェア 秋田工場〔仙北〕

製造品目／金属製の雨とい・屋根材・壁材

従業員数／64人

★今回の案内人は秋田工場長の久保田寛さん
(下写真左)と同工場管理課主任の浜田和行
さん(下写真右)です。

仙北地域で金属製の雨といや屋根材、壁材、雨水利用商品を製造しているのが株式会社タニタハウジングウェア秋田工場(谷田泰代表取締役社長、本社・東京都)です。

1947年、銅を溶かして原材料にする株式会社伸銅工業所として創業。その後、金属加工業へ転換し、銅製の雨とい製造分野に進出します。1989年に株式会社タニタハウジングウェアに社名変更。1992年、旧仙北町の誘致企業として秋田工場を開設しました。

同社の主力製品、金属製の雨といは、一般的な塩化ビニール製などに比べ、耐久性に優れているのが特徴です。生産数は年間

約1万5千棟。銅製雨といは、国内の9割を製造しています。

雨といと共に、屋根材、壁材なども製造。なかでもガルバリウム鋼板を使用した雨とい、屋根、壁、換気部材シリーズの「TANITAGALVA」は、落ち着いた色合いや質感、耐久性が建築家や設計事務所から支持され、個人住宅や公共施設に採用されています。

「雨のみちをデザインする」を社の使命に、建物と雨の接点となる雨といや屋根などの製品づくりを行う同社。「みち」に「道」と「未知」の意味を込めて雨の可能性を探るものづくり、新たな価値を創造し続けます。